

平成27年度工学科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備考	教職
						繊維・ファイバー工学コース	バイオベース	1～2年次					
								春		秋			
								①	②	③	④		
数 学 系	数理応用演習	a	朝田 衛	1	演習	○	○	2			週1回 8週 開講。 各クラスの対象: a 電子, b 情報, c 機械物理, d 機械設計及びその他の専攻。(4クラスの間で学生数に大きな不均衡が生じた場合はクラス間で人数調整を行うことがある。) 本学学部科目「数理応用演習」の既修得者は履修不可。		
		b	岩塚 明										
		c	大倉弘之										
		d	峯 拓矢										
	数理科学特論 I	Mathematical Sciences I		朝田 衛・井川 治・奥山裕介	2	講義	○	○	2				電・情
	数理科学特論 II	Mathematical Sciences II		岩塚 明・塚本千秋・峯 拓矢	2	講義	○	○	2				電・情
	数理科学特論 III	Mathematical Sciences III		大倉弘之・矢ヶ崎達彦・磯崎泰樹	2	講義	○	○	2				電・情
	数理応用代数	Algebra and its Applications		奥山裕介	2	講義	○	○		2		本学学部科目「数理応用代数」既修得者は履修不可。	電・情
	数理応用幾何	Geometry and its Applications		塚本千秋	2	講義	○	○		2		本学学部科目「数理応用幾何」既修得者は履修不可。	電・情
	数理応用解析	Mathematical Analysis and its Applications		峯 拓矢	2	講義	○	○		2		本学学部科目「数理応用解析」既修得者は履修不可。	電・情
	数理応用統計	Statistical Mathematics and its Applications		磯崎泰樹	2	講義	○	○		2		本学学部科目「数理応用統計」既修得者は履修不可。	電・情
	代数学セミナー	Seminar on algebra		朝田 衛・奥山裕介	2	演習	○	○		2			
	幾何学セミナー	Seminar on geometry		井川 治・塚本千秋・矢ヶ崎達彦	2	演習	○	○		2			
解析学セミナー	Seminar on analysis		岩塚 明・峯 拓矢	2	演習	○	○		2				
確率論セミナー	Seminar on probability theory		大倉弘之・磯崎泰樹	2	演習	○	○		2				
英 語 系	Academic Writing	a	林千恵子	1	講義	○	☆	2			応、材創、材制、物合、機物化、バ対象		
		b	深田 智										
		c	田中廣明										
	書くための英文法総仕上げ	English Grammar for Writing		羽藤由美	1	講義	○	☆	2			電、情、機物学、機設、デザ経、先ファ対象	
	Presentation Strategies	Presentation Strategies	a	ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆	2			応、材創、材制、物合、機物化、バ対象	
			b	ウィダル マイケル スコット									
			c	坪田 康									
	Technical English	Technical English	a	(Wever, Steven)	1	講義	○	☆	2			応、材創、材制、物合、機物化、バ対象	
			b	ウィダル マイケル スコット									
	Business Communication	Business Communication		(Wever, Steven)	2	講義	○	☆	2				
	English for International Conferences	English for International Conferences		深田 智	1	講義	○	☆	2				
	TOEIC受験集中対策	Intensive TOEIC Preparation		林千恵子	1	講義	○	☆	2				
	Media English: Listening, Reading and Discussion	Media English: Listening, Reading and Discussion		羽藤由美	1	講義	○	☆		2			
Presentation English: Listening, Reading and Discussion	Presentation English: Listening, Reading and Discussion		竹井智子	1	講義	○	☆		2				

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		繊維・ファイバー工学コース	週授業時間数				備考	教職
						バイオベース以外	バイオベース		1～2年次					
									春		秋			
									①	②	③	④		
英語系	Academic Reading	Academic Reading	田中廣明	1	講義	○	☆		2					
	Content and Language Integrated Learning I	Content and Language Integrated Learning I	竹井智子	1	講義	○	☆		2					
	Content and Language Integrated Learning II	Content and Language Integrated Learning II	ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆			2				
	Content and Language Integrated Learning III	Content and Language Integrated Learning III	(Wever, Steven)	1	講義	○	☆				2			
高等教養セミナー系	高等教養セミナー1	Advanced Liberal Arts Semiar 1	基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2				平成27年度開講せず	
	高等教養セミナー2	Advanced Liberal Arts Semiar 2	基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2			平成27年度開講せず	
	高等教養セミナー3	Advanced Liberal Arts Semiar 3	基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー4	Advanced Liberal Arts Semiar 4	基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー5	Advanced Liberal Arts Semiar 5	基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー6	Advanced Liberal Arts Semiar 6	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		平成27年度開講せず
	高等教養セミナー7	Advanced Liberal Arts Semiar 7	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		平成27年度開講せず
	高等教養セミナー8	Advanced Liberal Arts Semiar 8	基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				平成27年度開講せず
	高等教養セミナー9	Advanced Liberal Arts Semiar 9	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		
	高等教養セミナー10	Advanced Liberal Arts Semiar 10	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		
	高等教養セミナー11	Advanced Liberal Arts Semiar 11	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		
	高等教養セミナー12	Advanced Liberal Arts Semiar 12	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2		
	高等教養セミナー13	Advanced Liberal Arts Semiar 13	基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2					
	高等教養セミナー14	Advanced Liberal Arts Semiar 14	基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				
	高等教養セミナー15	Advanced Liberal Arts Semiar 15	基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				
	高等教養セミナー16	Advanced Liberal Arts Semiar 16	基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー17	Advanced Liberal Arts Semiar 17	基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2					
高等教養講義	Advanced Liberal Arts Lecture	基盤教育学域教員	1	講義	○	○					2			
人文系	比較文学特論	Comparative Literature, Advanced	ペリカエリブ・ロック	2	講義	○	○				2			
	制作思想	Poiesis and Artistic Discourse	伊藤 徹	2	講義	○	○		2					
	宗教文化論	The Study of Religious Culture	秋富克哉	2	講義	○	○		2					
	京の伝統工芸—知 美 技 (課題解決セミナー1)	Traditional Kyoto Art-Wisdom, Beauty and Technology(Problem-Solving Seminar I)	澤田美恵子・深田 智	2	講義・演習	○	○		2				集中	
	テックリーダーセミナーA(課題解決セミナー2)	TECH LEADER Seminar A(Problem-Solving Seminar II)	副学長・津吹達也	1	演習	○	○		2					
	テックリーダーセミナーB(課題解決セミナー3)	TECH LEADER Seminar B(Problem-Solving Seminar III)	副学長・津吹達也	1	演習	○	○			2				
	知的財産権特論	Intellectual Properties	知的財産センター長・(古谷栄男)	2	講義	○	☆		2					
自然科学系	環境化学特論	Environmental Chemistry, Advanced	山田 悦	2	講義	○	☆				2			応・材創・材制・物合・機物化・バ
	生体行動科学特論	Science of Human Performance, Advanced	野村照夫・来田宣幸	2	講義	○	○		4					
	バイオメカニクス特論	Biomechanics, Advanced	常岡秀行・芳田哲也	2	講義	○	○				2			
	「ものづくり」総合プロデュース論	Design&General Produce	久保雅義・(小林 洋)・(松川恵一)・(水間健介)	2	講義	○	○		2				集中	

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備考	教職
						バイオベース以外	バイオベース	1～2年次					
								春	秋	①	②		
インターンシップ系	インターンシップ I	Internship I	専攻関係教員	1	演習	○	☆		2				
	インターンシップ II	Internship II	専攻関係教員	2	演習	○	☆		4				
	グローバルインターンシップ I	Global Internship I	研究科長	1	演習	○	☆		2				
	グローバルインターンシップ II	Global Internship II	研究科長	2	演習	○	☆		4				
K I 大 学 院 科 目	ベンチャーラボ演習 I	Venture Laboratory Seminar I	ベンチャーラボラトリー長・(井上 薫)・(中山正人)・(武野 昭)・(和辻浩一)	2	演習	○	○		2				
	ベンチャーラボ演習 II	Venture Laboratory Seminar II	ベンチャーラボラトリー長・門 勇一	2	演習	○	○			2			
	プロジェクト・マネジメント	Project Management	副学長	2	講義	○	○			2		国際科学技術コース科目授業は英語で行う	
	IGP知的財産権論	IGP Intellectual Property	国際センター長・(久保浩三)	2	講義	○	○		2			集中 国際科学技術コース科目授業は英語で行う	
	産業創出論	Industry Creation Strategy	国際センター長・(染原俊朗)・(田口貢士)・(水越達也)	2	講義	○	○		2			集中 国際科学技術コース科目授業は英語で行う	
	実践プロセスデザイン I	Practice Process Design I	太田 稔・飯塚高志・江頭 快・吉本昌広	2	講義・演習・実習	○	○		2				
	実践プロセスデザイン II	Practice Process Design II	太田 稔・飯塚高志・江頭 快・吉本昌広	3	講義・演習・実習	○	○			6		集中(インターンシップ含む)	
	伝統産業特論	Advanced Conventional Technology	濱田泰以・桑原教彰・来田宣幸	2	講義・演習	○	○		2			集中	
	ジェロントロジー入門(超高齢社会のユニバーサルデザイン)	Gerontology	大柴小枝子・(関根千佳)・(日下菜穂子)・(津止正敏)	2	講義	○	○		2			集中	
	繊維系合同研修	Fiber/Textile Joint Research	青木隆史	2	演習	○	○	☆	2			集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、1年次	
繊維系資格概論	Qualification for Textile Business	浦川 宏	2	講義	○	○	☆	2			集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可		
アカデミックインターンシップ(国内)	Academic Internship	浦川 宏・澤田美恵子・先端ファイブプロ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	2	実習	○	○	☆	2	2		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、1年次、春又は秋学期開講		
アカデミックインターンシップ(海外)	Academic Internship (Overseas)	安永秀計	2	実習	○	○	☆	2	2		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、2年次、春又は秋学期開講		
海外繊維・ファイバー工学事情 I(欧米)	Fiber/Textile Technology in Overseas I (America and Europe)	佐々木園	2	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講		
海外繊維・ファイバー工学事情 II(アジア)	Fiber/Textile Technology in Overseas II (Asia)	鋤柄佐千子	2	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講		
繊維基礎科学(英語版e-Learning科目)	Textile Fundamentals	奥林里子	2	講義	○	○	☆	2			繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可		

注1. 履修区分欄の☆印は選択必修科目(バイオベースマテリアル学専攻は2単位以上必修)、○は選択科目を示す。

注2. 繊維・ファイバー工学コース欄の☆印は、繊維・ファイバー工学コースの「コース基幹科目」の選択必修科目(コース履修者は10単位以上必修)

(7) 電子システム工学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を()で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職
						1～2年次					
						春	秋	①	②		
集積回路工学特論	Integrated Circuits, Advanced	小林和淑・廣木 彰	2	講義	○		4				
知能性材料システム工学	Intelligent Material System Engineering	野田 実	1	講義	○		2				
マイクロデバイス工学	Microdevice Engineering	山下 馨	1	講義	○	2					
電子システムデザイン	Electronic Systems Design	門 勇一	2	講義	○	4					
電子デバイス特論	Electron Devices, Advanced	吉本昌広	1	講義	○		2				
エネルギー変換デバイス	Energy Conversion Devices	園田早紀	1	講義	○			2			
電子物性特論A	Electronic Theory of Matter, Advanced, A	林 康明・三瓶明希夫	1	講義	○	2					
電子物性特論B	Electronic Theory of Matter, Advanced, B	高橋和生	1	講義	○		2				※
光波工学	Optical Wave Engineering	裏 升吾	1	講義	○		2				
応用光学	Applied Optics	粟辻安浩	1	講義	○	2					
通信工学特論	Digital Communications, Advanced	大柴小枝子	1	講義	○		2				※
光電子デバイス工学	Optoelectronic Device Engineering	山下兼一	1	講義	○		2				
プラズマ解析学	Plasma Analysis	政宗貞男・比村治彦	2	講義	○	4					※
電磁波工学特論 A	Electromagnetic Wave Engineering, Advanced, A	島崎仁司	1	講義	○	2					※
電磁波工学特論 B	Electromagnetic Wave Engineering, Advanced, B	上田哲也	1	講義	○		2				※
電子系・電子凝縮系の物理	Basic Physics of Electrons and their Condensed System	萩原 亮	2	講義	○		2				
統計物理学	Statistical Physics	播磨 弘・三浦良雄	2	講義	○	4					※
ナノ構造工学	Nano Structure Engineering	武田 実	1	講義	○	2					
ナノ構造科学	Nano Structure Science	一色俊之	1	講義	○		2				
技術開発史	History of Technology Developments	上田大助・(佐藤了平)・(田中康弘)・(森田達夫)	2	講義	○		2				
電子システム工学インターンシップ I	Internship for Electronics and System Engineering I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)	
電子システム工学インターンシップ II	Internship for Electronics and System Engineering II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、電子システム工学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)	
電子システム工学特別実験及び演習 I	Advanced Experiments and Seminar on Electronics and System Engineering I	専攻関係教員	3	実験	●	6			1年次		※
電子システム工学特別実験及び演習 II	Advanced Experiments and Seminar on Electronics and System Engineering II	専攻関係教員	3	実験	●		6		1年次		※
電子システム工学特別実験及び演習 III	Advanced Experiments and Seminar on Electronics and System Engineering III	専攻関係教員	3	実験	●	6			2年次		※
電子システム工学特別実験及び演習 IV	Advanced Experiments and Seminar on Electronics and System Engineering IV	専攻関係教員	3	実験	●		6		2年次		※

(8) 情報工学専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を () で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備考	教職
					インタラクシオンデザイン イン学 コース 以外	インタラクシオンデザイン イン学 コース	1～2年次					
							春		秋			
①	②	③	④									
知能制御特論	Intelligent Control, Advanced	飯間 等・森 禎弘	2	講義	○	○			4			
情報ネットワーク特論	Data Networks, Advanced	若杉耕一郎・梶田秀夫	2	講義	☆	○			2			※
ダイナミカルシステム論	Dynamical Systems Theory	黒江康明・森 禎弘	2	講義	☆	○			2			※
信号処理特論	Digital Signal Processing, Advanced	福澤理行	2	講義	☆	○			4			※
符号理論	Coding Theory	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	○			4			※
コンピュータシステム特論	Computer Systems, Advanced	平田博章・柴山 潔	2	講義	☆	○			2			
知的最適化特論	Computational Intelligence and Optimization, Advanced	黒江康明	2	講義	○	○			4			※
知識情報学特論A	Knowledge Informatics and Semantics, Advanced A	荒木雅弘・辻野嘉宏	1	講義	☆	☆			2			※
知識情報学特論B	Knowledge Informatics and Semantics, Advanced B	辻野嘉宏・荒木雅弘	1	講義	☆	○			2			※
ソフトウェア工学特論 I	Software Engineering, Advanced I	水野 修	1	講義	○	☆			2			
ソフトウェア工学特論 II	Software Engineering, Advanced II	水野 修	1	講義	○	○			2			
フィジカルインタラクシオンデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・櫛 勝彦・荒木雅弘・岡田栄造・野宮浩揮	4	演習	○	☆			4			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり
ソーシャルインタラクシオンデザイン	Social Interaction Design	渋谷 雄・川北眞史・倉本 到・西村雅信・池側隆之・山本景子	4	演習	○	☆			4			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり
マルチメディア効果論	Multimedia Effects	寶珍輝尚	1	講義	○	☆			2			
データ工学特論	Data Engineering, Advanced	寶珍輝尚	1	講義	○	○			2			
形式言語理論	Formal Language Theory	辻野嘉宏・倉本 到	2	講義	☆	○			4			※
人間情報環境特論	Human Centred Information Processing Environments	渋谷 雄・倉本 到・(園山隆輔)	2	講義	○	☆			4			
認知的インタラクシオンデザイン学	Cognitive Interaction Design	岡 夏樹・渋谷 雄・西崎友規子・(岩橋直人)・(小松孝徳)・(長井隆行)・(長井志江)・(南 泰浩)	1	講義	○	☆			1			集中
情報工学インターンシップ I	Internship for Information Science I	専攻関係教員	6	演習	○	○			-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)
情報工学インターンシップ II	Internship for Information Science II	専攻関係教員	6	演習	○	○			-			社会人特別入試で合格し入学した者で、情報工学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)
情報工学特別実験及び演習 I	Special Seminar on Information Science I	専攻関係教員	3	実験	●	●			6		1年次	※
情報工学特別実験及び演習 II	Special Seminar on Information Science II	専攻関係教員	3	実験	●	●			6		1年次	※
情報工学特別実験及び演習 III	Special Seminar on Information Science III	専攻関係教員	3	実験	●	●			6		2年次	※
情報工学特別実験及び演習 IV	Special Seminar on Information Science IV	専攻関係教員	3	実験	●	●			6		2年次	※

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		週授業時間数				備 考	教 職
					インタラクションデザイン学コース以外	インタラクションデザイン学コース	1～2年次					
							春	秋	①	②		
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects I	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(6)				1年次	
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects II	専攻関係教員	(3)	実験	●	●		(6)			1年次	
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects III	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(6)				2年次	
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects IV	専攻関係教員	(3)	実験	●	●		(6)			2年次	
特別研究	Special Research	専攻関係教員										

☆は、選択必修科目（インタラクションデザイン学コース以外は7科目12単位中8単位以上必修；インタラクションデザイン学コースは7科目14単位中8単位以上必修）

(12) 建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職		
						インターンシップ	関連科目	1～2年次		①	②			③	④
								春	秋						
専攻共通科目群															
建築家職能論	Architect Professionalism	木村博昭・長坂 大・米田 明・角田暁治	2	講義	●		○	2					※		
都市・建築設計実習Ⅰ	Architecture and Urban Design Studio I	専攻関係教員	3	実習	●	☆		6				1年次			
都市・建築設計実習Ⅱ	Architecture and Urban Design Studio II	専攻関係教員・(登坂 誠)	3	実習	●	☆			6			1年次			
建築力学・構造特論	Structural Mechanics and Design, Advanced	森迫清貴・金尾伊織	2	講義	○			2					※		
建築環境・設備論	Building Environment and Equipments	(岡田康郎)	2	講義	○				2				※		
防災設計技術	Design Technology of Disaster Prevention	阪田弘一・高木真人	2	演習	○		○		4						
伝統建築設計技術	Design Technology of Traditional Architecture	森迫清貴・清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	演習	○		○	4							
建築設備設計技術	Design Technology of Building Equipments	(岡田康郎)	2	実習	○				4						
建築構造設計技術	Design Technology of Building Structures	小坂郁夫・金尾伊織	2	実習	○			4							
日本建築史特論	History of Japanese Architecture, advanced	清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	講義	○			2					※		
世界建築史特論	History of World Architecture, advanced	石田潤一郎・西田雅嗣・大田省一	2	講義	○				2				※		
専門科目群 (建築設計学領域)															
建築デザイン	Architectural Design	木村博昭・長坂 大・Viray, Erwin・米田 明・角田暁治	2	講義	○		○	2					※		
環境デザイン	Environmental Design	長坂 大・松隈 洋・西田雅嗣	2	講義	○		○	2							
都市デザイン	Urban Design	小野芳朗・笠原一人	2	講義	○				2						
建築設計マネジメント	Architectural Supervision and Building Cost Management	Viray, Erwin・角田暁治・米田 明	2	講義	○		○	2					※		
地域施設設計マネジメント	Design Management of District Facilities	高木真人・佐々木厚司	2	講義	○		○	2							
住環境設計マネジメント	Design Management of Dwelling Environment	鈴木克彦	2	講義	○		○	2							
都市環境設計マネジメント	Design Management of Urban Environment	小野芳朗・中川 理・田原幸夫	2	講義	○		○	2							
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	小坂郁夫・金尾伊織	2	講義	○				2						
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	2	演習	●K	●		2					※		
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	2	演習	●K	●			2				※		
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice- I	専攻関係教員	4	実習	●K	●		4	4			集中・学外インターンシップ・1年次			
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice- II	専攻関係教員	4	実習	●K	●		4	4			集中・学外インターンシップ・2年次			
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice- III	専攻関係教員	4	実習	○	○		4	4			集中・学外インターンシップ			
国際設計プロジェクトⅠ	International Project of Architectural Design- I	専攻関係教員	2	演習	○		○	2	2			集中・1年次			
国際設計プロジェクトⅡ	International Project of Architectural Design- II	専攻関係教員	2	演習	○		○	2	2			集中・2年次			
建築設計学特別講義A	Special Lecture-A	専攻関係教員	1	講義	○		○	1	1			集中・1年次			
建築設計学特別講義B	Special Lecture-B	専攻関係教員	1	講義	○		○	1	1			集中・2年次			
建築設計学インターンシップⅠ	Internship for Architectural Design- I	専攻関係教員	6	演習	○	☆		-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1年次(通年)			

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士		週授業時間数				備 考	教職	
						インターンシップ	関連科目	1～2年次						
								春		秋				
①	②	③	④											
建築設計学インターンシップⅡ	Internship for Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	☆			-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、建築設計学インターンシップI既習得者のみ履修可・2年次(通年)	
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員												
専門科目群 (都市・建築再生学領域)														
日本都市史	Japanese Urban History	中川 理・小野芳朗・岩本 馨	2	講義	○				2					
世界都市史	Urban History of the World	石田潤一郎・西田雅嗣・大田省一・赤松加寿江	2	講義	○					2				
建築保存工学	Structural Renovation of Buildings	森迫清貴・金尾伊織	2	講義	○				2					
保存活用デザイン論	Preserved Utilization Design Theory	田原幸夫・長坂 大・米田 明	2	講義	○				2					
サステナビリティ計画論	Theory of Sustainability Design	鈴木克彦・阪田弘一	2	講義	○				2					※
景観学特論	Landscape Studies, Advanced	中川 理・赤松加寿江	2	講義	○					2				
地域管理論	Community Design and Management	高木真人・阪田弘一・佐々木厚司	2	講義	○				2					※
都市基盤学	Urban Infrastructure	小野芳朗・中川 理	2	講義	○					2				※
建築・都市再生学演習	Practices of Management for Urban Regeneration	田原幸夫・小野芳朗・石田潤一郎・木村博昭・高木真人・岩本 馨・大田省一・赤松加寿江	4	演習	○				2	2			設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。	
保存再生技術演習	Seminar for Reinforcement and Renovation of Traditional Buildings	小坂郁夫・清水重敦・矢ヶ崎善太郎・田原幸夫	4	演習	○				4					
近代建築保存技術	Design Technology of Renovation of Modern Architecture	石田潤一郎・金尾伊織・田原幸夫	4	演習	○				4					
都市再生マネジメント演習	Practices of Management for Urban Regeneration	中川 理・阪田弘一	4	演習	○					4				
都市・建築再生設計インターンシップⅠ	Internship for Architecture and Urban Design I	専攻関係教員	6	演習	○				3	3				
都市・建築再生設計インターンシップⅡ	Internship for Architecture and Urban Design II	専攻関係教員	6	演習	○				3	3				
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	4	演習	●	T			2	2	1年次			※
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	4	演習	●	T			2	2	2年次			※
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員												

1. 建築士欄の●は必修科目、☆は選択必修科目、○は選択科目を示す。
2. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。
3. 修了要件として、専攻共通科目群より10単位以上、専門科目群より20単位以上、合計30単位以上取得すること。
4. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士受験資格の実務経験2年と認定される。
5. 教育職員免許状の高等学校教諭(工業)一種免許状を取得した者又は取得有資格者で、高等学校教諭(工業)の専修免許状を取得しようとする者は、「教職」欄に「※」を付した科目を24単位以上修得し、修士の学位を得ることにより取得することが出来ます。但し、「都市・建築空間研究A、B」の合計4単位を履修する者は、「都市・建築再生学演習Ⅰ、Ⅱ」以外から20単位を、「都市・建築再生学演習Ⅰ、Ⅱ」の合計8単位を履修する者は、「都市・建築空間研究A、B」以外から16単位以上を修得すること。

(13) デザイン学専攻 (デザイン学領域)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職
						1～2年次					
						春	秋	①	②		
デザイナー職能論	Designer Professionalism	専攻関係教員	2	講義	●	2				※	
アドバンストデザインプロジェクトⅠ	Advanced Design Project I	専攻関係教員	2	演習	☆S	1	1	1年次			
アドバンストデザインプロジェクトⅡ	Advanced Design Project II	専攻関係教員	2	演習	☆S	1	1	2年次			
伝統文化とデザイン	Traditional Culture and Design	並木誠士・中野仁人	2	講義	☆S	2					
技術革新とデザイン	Technological Innovation and Design	平芳幸浩・池側隆之	2	講義	☆S	2				※	
社会問題とデザイン	Social Issues and Design	野口企由・森本一成・桑原教彰	2	講義	☆S	2					
日本建築史特論	History of Japanese Architecture, advanced	清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	講義	☆S	2				※	
世界建築史特論	History of World Architecture, advanced	石田潤一郎・西田雅嗣・大田省一	2	講義	☆S		2			※	
情報デザイン論	Information Design	榎 勝彦・(山崎和彦)	2	講義	☆S		2			※	
デザイン解析工学	Perception and Design	(鳥宮尚道)	2	講義	☆S		2				
デザインプロジェクトA	Design Project A	専攻関係教員	6	演習	●	6				※	
デザインプロジェクトB	Design Project B	専攻関係教員	6	演習	●		6			※	
イノベーションデザインプロセス	Design Process for Innovation	榎 勝彦・岡田栄造・多田羅景太・中坊壮介	8	演習	☆D1	4	4		履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・榎 勝彦・荒木雅弘・岡田栄造・野宮浩揮	4	演習	☆D1	4			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	渋谷 雄・川北眞史・倉本 到・西村雅信・池側隆之・山本景子	4	演習	☆D1		4		演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		
プロダクトデザイン論	Product Design	岡田栄造・中坊壮介	2	講義	☆D2	2				※	
グラフィックデザイン論	Graphic Design	中野仁人・西村雅信	2	講義	☆D2	2				※	
メディアデザイン論	Media Design	池側隆之・市川靖史	2	講義	☆D2		2			※	
インテリアデザイン論	Interior Design	野口企由・多田羅景太	2	講義	☆D2		2				
デザイン学インターンシップⅠ	Internship for Design I	専攻関係教員	6	演習	☆D2	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1～2年次(通年)		
デザイン学インターンシップⅡ	Internship for Design II	専攻関係教員	6	演習	☆D2	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、デザイン学インターンシップI既習得者のみ履修可・1～2年次(通年)		
デザイン学特別講義A	Professional Lecture Series in Design A	専攻関係教員	1	講義	☆D2	1		集中			
デザイン学特別講義B	Professional Lecture Series in Design B	専攻関係教員	1	講義	☆D2		1	集中			
特別制作	Master's Project	専攻関係教員									

☆は選択必修科目 (☆Sから6単位以上、☆D1から4単位以上、☆D2から6単位以上)

(14) デザイン学専攻 (価値創造学領域)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職
						1～2年次					
						春	秋	①	②		
デザイナー職能論	Designer Professionalism	専攻関係教員	2	講義	●	2				※	
アドバンストデザインプロジェクトⅠ	Advanced Design Project I	専攻関係教員	2	演習	☆S	1	1	1年次			
アドバンストデザインプロジェクトⅡ	Advanced Design Project II	専攻関係教員	2	演習	☆S	1	1	2年次			
伝統文化とデザイン	Traditional Culture and Design	並木誠士・中野仁人	2	講義	☆S	2					
技術革新とデザイン	Technological Innovation and Design	平芳幸浩・池側隆之	2	講義	☆S	2				※	
社会問題とデザイン	Social Issues and Design	野口企由・森本一成・桑原教彰	2	講義	☆S	2					
日本建築史特論	History of Japanese Architecture, advanced	清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	講義	☆S	2					
世界建築史特論	History of World Architecture, advanced	石田潤一郎・西田雅嗣・大田省一	2	講義	☆S		2				
情報デザイン論	Information Design	榎 勝彦・(山崎和彦)	2	講義	☆S		2			※	
デザイン解析工学	Perception and Design	(鳥宮尚道)	2	講義	☆S		2				
保存活用デザイン論	Preserved Utilization Design Theory	田原幸夫・長坂 大・米田 明	2	講義	☆K	2					
都市基盤学	Urban Infrastructure	小野芳朗・中川 理	2	講義	☆K		2			※	
建築・都市再生学演習	Practices of Architecture and Urban Regeneration	田原幸夫・小野芳朗・石田潤一郎・木村博昭・高木真人・岩本 馨・大田省一・赤松加寿江	4	演習	☆K	2	2	設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。			
保存再生技術演習	Seminar for Reinforcement and Renovation of Traditional Buildings	小坂郁夫・清水重敦・矢ヶ崎善太郎・田原幸夫	4	演習	☆K	4					
芸術学特論	Theory of Art, Advanced	三木順子	2	講義	☆K	2					
造形史特論	History of Art and Design	永井隆則	2	講義	☆K		2				
美術史学特論	History of Art, advanced	並木誠士	2	講義	☆K	2					
芸術空間論	Theory of Art and Space	平芳幸浩	2	講義	☆K		2				
美術展示特論	Theory of Curation, advanced	並木誠士・平芳幸浩・永井隆則	2	講義	☆K	2					
建築展示特論	Architectural Exhibitions, Advanced	中川 理・松隈 洋・笠原一人・三宅拓也	2	講義	☆K		2				
博物館資料実習Ⅰ	Curatorial and Archival Exercises at Museum I	専攻関係教員	2	演習	☆K	2		1年次			
博物館資料実習Ⅱ	Curatorial and Archival Exercises at Museum II	専攻関係教員	2	演習	☆K		2	1年次 博物館資料実習Ⅰ既修得者のみ履修可			
博物館資料実習Ⅲ	Curatorial and Archival Exercises at Museum III	専攻関係教員	2	演習	☆K	2		2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅱ既修得者のみ履修可			
博物館資料実習Ⅳ	Curatorial and Archival Exercises at Museum IV	専攻関係教員	2	演習	☆K		2	2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅲ既修得者のみ履修可			
価値創造学演習Ⅰ	Seminar on Axiology and Curation I	専攻関係教員	4	演習	●	2	2	1年次			
価値創造学演習Ⅱ	Seminar on Axiology and Curation II	専攻関係教員	4	演習	●	2	2	2年次			
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員									

☆は選択必修科目 (☆Sから6単位以上、☆Kから14単位以上)

(15) 先端ファイブプロ科学専攻 (論文コース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職
						1～2年次					
						春		秋			
①	②	③	④								
テキスタイルサイエンス I	Textile Science I (Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	●	2			1年次	※	
テキスタイルサイエンス II	Textile Science II (Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2	2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリング I	Textile Engineering I (Mechanics)	横山敦士	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリング II	Textile Engineering II (Evaluation)	某	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリング III	Textile Engineering III (Finishing)	奥林里子	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリング IV	Textile Engineering IV (Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリング V	Textile Engineering V (Sustainability)	西村寛之	2	講義	☆		2		1年次	※	
コンポジット・マニファクチュアリング設計	Composites / Manufacturing design	濱田泰以	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
ナノエンジニアリング設計	Nanoengineering design	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	森本一成	2	講義	○	2			集中		
サステナビリティ設計	Sustainability Design	木村照夫	2	講義	○	2				※	
先端ファイブプロ科学シナジー I	Advanced Fibro Synergy I	専攻関係教員	1	演習	○	1			2年次、集中		
先端ファイブプロ科学シナジー II	Advanced Fibro Synergy II	専攻関係教員	1	演習	○		1		集中		
先端ファイブプロ科学セミナー I	Advanced Fibro-Science Seminar I	専攻関係教員	2	講義	●		2		1年次、集中		
先端ファイブプロ科学セミナー II	Advanced Fibro-Science Seminar II	専攻関係教員	2	講義	●		2		2年次、集中		
社会の中の科学技術 I	Science and Technology Strategy I	松本明博	2	講義	○	2			集中	※	
社会の中の科学技術 II	Science and Technology Strategy II	小寺洋一	2	講義	○		2		集中	※	
社会の中の科学技術 III	Science and Technology Strategy III	(柿田恭良)	2	講義	○	2			集中		
先端ファイブプロ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・(岡本信司)・(篠崎 彰大)・(久本誠一)・(堀 照夫)・(増田敦士)・(具 剛)・(近藤義和)	2	講義	○	2			1年次、集中		
プラスチック成形加工学 I	Polymer Processing I	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			集中		
プラスチック成形加工学 II	Polymer Processing II	専攻関係教員	2	講義	○		2		集中		
国際コミュニケーション演習 I	Seminar on International Culture Communication I	専攻関係教員	2	演習	○		2		集中		
国際コミュニケーション演習 II	Seminar on International Culture Communication II	専攻関係教員	2	演習	○		2		集中		
先端ファイブプロ科学インターンシップ I	Internship for Advanced Fibro-Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学インターンシップ II	Internship for Advanced Fibro-Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブプロ科学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習 I	Advanced Fibro Science Seminar and Research I	専攻関係教員	2	実験	●	4			1年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習 II	Advanced Fibro Science Seminar and Research II	専攻関係教員	2	実験	●		4		1年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習 III	Advanced Fibro Science Seminar and Research III	専攻関係教員	3	実験	●	6			2年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習 IV	Advanced Fibro Science Seminar and Research IV	専攻関係教員	3	実験	●		6		2年次	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

☆は、選択必修科目 (5科目中1科目以上必修)

(16) 先端ファイブプロ科学専攻 (特定課題型コース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職
						1～2年次					
						春	秋	①	②		
テキスタイルサイエンスⅠ	Textile Science I (Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	●	2			1年次	※	
テキスタイルサイエンスⅡ	Textile Science II (Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2	2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅠ	Textile Engineering I (Mechanics)	横山敦士	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅡ	Textile Engineering II (Evaluation)	某	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅢ	Textile Engineering III (Finishing)	奥林里子	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅣ	Textile Engineering IV (Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅤ	Textile Engineering V (Sustainability)	西村寛之	2	講義	☆		2		1年次	※	
コンポジット・マニファクチュアリング設計	Composites / Manufacturing design	濱田泰以	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
ナノエンジニアリング設計	Nanoengineering design	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	森本一成	2	講義	○	2			集中		
サステナビリティ設計	Sustainability Design	木村照夫	2	講義	○	2				※	
先端ファイブプロ科学シナジーⅠ	Advanced Fibro Synergy I	専攻関係教員	1	演習	○	1			2年次、集中		
先端ファイブプロ科学シナジーⅡ	Advanced Fibro Synergy II	専攻関係教員	1	演習	○		1		集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅠ	Advanced Fibro-Science Seminar I	専攻関係教員	2	講義	○		2		1年次、集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅡ	Advanced Fibro-Science Seminar II	専攻関係教員	2	講義	○		2		2年次、集中		
社会の中の科学技術Ⅰ	Science and Technology Strategy I	松本明博	2	講義	○	2			集中	※	
社会の中の科学技術Ⅱ	Science and Technology Strategy II	小寺洋一	2	講義	○		2		集中	※	
社会の中の科学技術Ⅲ	Science and Technology Strategy III	(柿田恭良)	2	講義	○	2			集中		
先端ファイブプロ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・(岡本信司)・(篠崎 彰大)・(久本誠一)・(堀 照夫)・(増田敦士)・(具 剛)・(近藤義和)	2	講義	○	2			1年次、集中		
プラスチック成形加工学Ⅰ	Polymer Processing I	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			集中		
プラスチック成形加工学Ⅱ	Polymer Processing II	専攻関係教員	2	講義	○		2		集中		
国際コミュニケーション演習Ⅰ	Seminar on International Culture Communication I	専攻関係教員	2	演習	○		2		集中		
国際コミュニケーション演習Ⅱ	Seminar on International Culture Communication II	専攻関係教員	2	演習	○		2		集中		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ	Internship for Advanced Fibro-Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅡ	Internship for Advanced Fibro-Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)		
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects I	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●	6			1年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects II	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●		6		1年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects III	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●	6			2年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects IV	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●		6		2年次	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

☆は、選択必修科目 (5科目中2科目以上必修)

(17) バイオベースマテリアル学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次					
						春	秋	①	②		
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	専攻関係教員	1	演習	●	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	某	2	講義	☆C				4	集中	※
バイオメディカル化学	Biomedical Chemistry	青木隆史	2	講義	☆C			4			※
生体分子立体化学	Stereochemical Aspects of Bio-molecules	安孫子 淳	2	講義	☆C				4		※
バイオカラーサイエンス	Biocolour Science	安永秀計	2	講義	☆C			4			※
バイオ機能材料	Bio-functional Materials	浦川 宏	2	講義	☆M			4			※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	☆M				4		※
ナノ材料構造	Structure of Nanomaterials	佐々木 園	2	講義	☆M	4					※
バイオナノファイバー	Bio-Nano Fiber	山根秀樹	2	講義	☆M	4					※
生物資源システム工学	System Engineering for Bio-resources	小原仁実	2	講義	☆B	4					※
環境資源科学	Environmental Resources Science	麻生祐司	2	講義	☆B			4			※
タンパク質機能構造	Functional Structures of Proteins	北所健悟	2	講義	☆B			4			※
植物機能工学	Plant Function and Technology	半場祐子	2	講義	☆B		4				※
バイオベースマテリアル学セミナー	Seminar on Bio-based Materials Science	(相羽誠一)	1	演習	●			2		集中	
バイオベースマテリアル学国際セミナー	International Seminar on Bio-based Materials Science	(Kenneth J. Wynne)	1	演習	●	2				集中	
産学連携セミナー	Seminar on Academic-Industrial Cooperation	(北川和男)	1	演習	○	2				集中	
バイオベースマテリアル学インターンシップⅠ	Internship for Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)	
バイオベースマテリアル学インターンシップⅡ	Internship for Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、バイオベースマテリアル学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)	
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	2	実験	●	5	5			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	2	実験	●	5	5			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅲ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science III	専攻関係教員	2	実験	●	5	5			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅳ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science IV	専攻関係教員	2	実験	●	5	5			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

1. 履修区分欄の☆は選択必修科目を示す。C、M、B群の内、自己の登録した群の内から4単位、それ以外の2群からそれぞれ2単位以上を履修すること。
2. その他、専攻共通科目に指定する科目の内から2単位以上を履修すること。

平成27年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
						1～3年次				
						春		秋		
①	②	③	④							
数理解析学	Studies in Analysis for Mathematical Sciences	矢ヶ崎達彦・朝田 衛・塚本千秋・奥山裕介・井川 治	2	講義	○	2				
応用解析学	Studies in Applied Analysis	岩塚 明・大倉弘之・峯 拓矢・磯崎泰樹	2	講義	○	2				
応用運動生理学	Applied Exercise Physiology	常岡秀行・野村照夫・芳田哲也・来田宣幸	2	講義	○			2		
言語文化情報学	Lectures on Language and Culture	澤田美恵子・南 剛・ペウヰェリブブロック・深田 智	2	講義	○	2				
学術英語研究	Academic English	羽藤由美・田中廣明・林千恵子・深田 智	2	講義	○			2		西暦奇数年開講
現代思想論	Studies on Modern Intellectual Trends	秋富克哉・伊藤 徹	2	講義	○			2		
視知覚理論	Theories of Visual Perception	大谷芳夫	2	講義	○	2				
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	ベンチャーラボラトリー長・川北眞史	2	演習	○			2		

(2) バイオテクノロジー専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
						1～3年次				
						春		秋		
①	②	③	④							
昆虫バイオメディカル	Insect Biomedical	森 肇・某・小谷英治・井上喜博	2	講義	☆	4				
ゲノム・エピゲノム制御学	Genomics and Epigenomics	山口政光・伊藤雅信・高野敏行・某・某	2	講義	☆			4		
生命分子構造機能学	Applied Molecular Life Sciences	原田繁春・鈴木秀之・井沢真吾・志波智生	2	講義	☆	4				
生体機能制御学	Cellular and Molecular Biology	中島敏博・遠藤泰久・野村照夫・片岡孝夫・宮田清司・蔵本博史・来田宣幸	2	講義	☆			4		
植物・生態学	Applied Plant and Insect Sciences	半場祐子・中元朋実・秋野順治・一田昌利・齊藤 準・北島佐紀人・堀元栄枝	2	講義	☆				4	
バイオテクノロジーインターンシップⅠ	Internship for Biotechnology I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人コース生のみ履修可(通年)
バイオテクノロジーインターンシップⅡ	Internship for Biotechnology II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人コース生で、バイオテクノロジーインターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)
バイオテクノロジー特別演習Ⅰ	Special Seminar I on Biotechnology	専攻関係教員	3	演習	●	3	3			
バイオテクノロジー特別演習Ⅱ	Special Seminar II on Biotechnology	専攻関係教員	3	演習	●	3	3			
研究指導	Research Guidance									

☆は、選択必修科目 (5科目中4科目以上必修)

(6) 設計工学専攻 (価値デザインコース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
						1～3年次				
						春		秋		
①	②	③	④							
機械材料加工論	Manufacturing Processes for Engineering Materials	江頭 快・太田 稔・飯塚高志	2	講義	☆			4		
エネルギーインターネット設計論	Energy Internet Design	門 勇一	1	講義	☆	2				
通信信号処理	Signal Processing for Communications	大柴小枝子	1	講義	☆		2			
情報行動論	Human Behaviour in Information Environments	辻野嘉宏・岡 夏樹・澁谷 雄・寶珍輝尚・倉本 到	2	講義	☆				2	
Kansei-Human応用設計	Applied Kansei-Human Interface	森本一成・桑原教彰	2	講義	☆				2	
振動力学	Vibrational Dynamics	曾根 彰・木村 浩・増田 新・軽野義行	2	講義	☆			4		
デザインマネジメント論	Design Management	仲 隆介・木谷庸二	2	講義	☆	2				
デザイン経営学	Management of Technology and Design	川北真史・久保雅義・勝本雅和・坂本和子	2	講義	☆				2	
デザイン基礎工学	Basics in Design Engineering	宮里 勉・佐藤哲也・小山恵美・北口紗織	2	講義	☆	4				
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	ベンチャーラボラトリー長・川北真史	2	演習	●				2	専攻共通科目
価値デザイン特別演習 I	Seminar on Comprehensive Design I	専攻関係教員	3	演習	●		3			
価値デザイン特別演習 II	Seminar on Comprehensive Design II	専攻関係教員	3	演習	●				3	価値デザイン特別演習 I 既修得者のみ履修可
価値デザイン特別演習 III	Seminar on Comprehensive Design III	専攻関係教員	3	演習	●				3	価値デザイン特別演習 II 既修得者のみ履修可
研究指導	Research Guidance									

☆は、選択必修科目 (5単位以上必修)

(7) 建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
①	②	③	④							
学域共通科目群										
芸術学・芸術史論	History and Theory of Art	並木誠士・三木順子	2	講義	○	2				
造形史論	Theory of History of Art and Design	永井隆則	2	講義	○		2			
専攻共通科目群										
都市再生計画論	Design Theory of Urban Regeneration	鈴木克彦・阪田弘一・高木真人	2	講義	○		2			
建築保存計画論	Design Theory of Building Conservation	鈴木克彦・中川 理・阪田弘一	2	講義	○	2				
伝統建築論	Theory of Japanese Architecture	石田潤一郎・清水重敦・西田雅嗣	2	講義	○		2			
伝統建築構造論	Traditional Building Structures	小坂郁夫・森迫清貴・金尾伊織・村本 真	2	講義	○		2			
専門科目群 (建築設計学領域)										
建築表現論	Architectural Design Theory	木村博昭・長坂 大・Viray,Erwin・松隈 洋・角田暁治・清水重敦・米田 明	2	講義	○		2			
耐震構造論	Earthquake Resistant Structures	小坂郁夫・金尾伊織	2	講義	○	2				
建築設計監理論	Architectural Design Management Theory	木村博昭・長坂 大・Viray,Erwin・松隈 洋・角田暁治・清水重敦・米田 明	2	講義	○	2				
都市・建築設計インターンシップⅠ	Architecture and Urban Design Internship I	専攻関係教員	6	演習	○	3	3			1年次・社会人コース生のみ履修可(通年)
都市・建築設計インターンシップⅡ	Architecture and Urban Design Internship II	専攻関係教員	6	演習	○	3	3			2年次・社会人コース生で、都市・建築設計インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)
建築設計プロジェクトⅠ	Architecture Design Project I	専攻関係教員	3	実習	●	3	3			1年次
建築設計プロジェクトⅡ	Architecture Design Project II	専攻関係教員	3	実習	●	3	3			2年次
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								
専門科目群 (都市・建築再生学領域)										
建築史特論	Architectural History, advanced	石田潤一郎・清水重敦・矢ヶ崎善太郎・大田省一	2	講義	○	2				
都市史特論	Urban History, Advanced	中川 理・小野芳朗・岩本 馨・大田省一	2	講義	○		2			
保存活用設計特論	Preserved Utilization Advanced Design Methodology	長坂 大・米田 明	2	講義	○	2				
都市再生設計特論	Urban Regeneration and Design, Advanced	中川 理・小野芳朗	2	講義	○		2			
都市・建築活用管理論	Architecture and Urban Management for Utilization	中川 理・佐々木厚司・田原幸夫・(橋本敏子)	2	講義	○	2				
都市・建築再生学インターンシップⅠ	Internship for Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	○	3	3			1・2年次
都市・建築再生学インターンシップⅡ	Internship for Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	6	演習	○	3	3			1・2年次
都市・建築再生学特別演習Ⅰ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	3	演習	●	3	3			1年次
都市・建築再生学特別演習Ⅱ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	3	演習	●	3	3			2年次
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								

1. 修了要件として、専攻共通科目群より2単位以上、専門科目群より14単位以上、合計16単位以上修得すること。
ただし、必修科目は、「建築設計プロジェクトⅠ・Ⅱ」、「都市・建築再生学特別演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択すること。

日本語科目

博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程に所属する外国人留学生のために、以下の日本語科目を開講しています。

この日本語科目は、外国人留学生のみが履修することができます。

ただし、日本語科目の単位は、修了要件単位に含めることができません。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						春		秋		
						①	②	③	④	
日本語コミュニケーションⅠ	Japanese Communication I	伊藤翼斗	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅡ	Japanese Communication II	伊藤翼斗	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅢ	Japanese Communication III	(水野マリ子)	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅣ	Japanese Communication IV	(水野マリ子)	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅤ	Japanese Communication V	(水野マリ子)	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅥ	Japanese Communication VI	(水野マリ子)	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅦ	Japanese Communication VII	水野義道	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅧ	Japanese Communication VIII	水野義道	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅨ	Japanese Communication IX	澤田美恵子	1	演習	○			2		

(1) 遺伝資源キュレーター育成プログラム

遺伝資源キュレーターとは、遺伝資源の研究や利用に必要とされる知識と技術を修得した高度専門技術者であり、主に生物を取り扱う企業、研究機関あるいは地方公共団体の試験場、防疫機関などにおける遺伝資源の収集・維持・管理、および解析・応用・開発などの分野での活躍が期待されています。

遺伝資源キュレーターに求められる知識と技術は大きく分けて次の3つです。

1. 生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解
2. 遺伝資源の取り扱いと利用技術
3. 生物多様性の科学的理解

この遺伝資源キュレーターの養成を目的として、遺伝資源キュレーター育成プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、遺伝資源キュレーターとして認定証を交付します。(国家資格ではありません。)

遺伝資源キュレーター育成プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②遺伝資源キュレーターの認定には、以下の教科課程表から、必修4単位を含め、各カテゴリー（生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解、遺伝資源の取り扱いと利用技術、生物多様性の科学的理解）から4単位以上の計14単位以上の単位を修得することが必要です。
- ③教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、修了要件に含めることができる単位については、大学院工学科学研究科履修規則 別表4（第5条第1項関係）の（1）修了に必要な単位数で確認してください。
- ④教科課程表の備考欄に京都府立大学大学院の表示のある科目については、別途単位互換科目としての履修手続きが必要となります。
- ⑤設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。

○遺伝資源キュレーター育成プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
①	②	③	④					
生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解								
遺伝資源と社会－法規－	(森岡 一)	2	●			2		応用生物学専攻開講科目
資源昆虫学特論	秋野順治・一田昌利	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目・集中
資源植物学特論	中元朋実・堀元栄枝	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目・集中
バイオビジネス論	椎名 隆 他	2	☆	2				京都府立大学大学院生命環境科学研究科開講科目
遺伝資源の取り扱いと利用技術								
遺伝資源学実習及び演習	伊藤雅信・一田昌利・井上喜博・北島佐紀人・都丸雅敏	2	●	2				集中授業
染色体工学特論	山口政光・伊藤雅信	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
昆虫工学特論	森 肇・小谷英治	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
植物分子工学特論	半場祐子・北島佐紀人	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
細胞分子工学特論	某	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
植物バイオテクノロジー特論	椎名 隆 他	2	☆	1		1		京都府立大学大学院生命環境科学研究科開講科目・集中講義
生物多様性の科学的理解								
進化ゲノム学特論	高野敏行・某	2	☆	2				応用生物学専攻開講科目・集中
昆虫生理機能学特論	齊藤 準	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
微生物工学特論	鈴木秀之・井沢真吾	2	☆	4				応用生物学専攻開講科目
構造生物学特論	原田繁春・志波智生	2	☆	4				応用生物学専攻開講科目
生体分子機能学特論	片岡孝夫	2	☆			4		応用生物学専攻開講科目
生体機能学特論	中島敏博・宮田清司	2	☆			4		応用生物学専攻開講科目
細胞機能学特論	遠藤泰久・蔵本博史	2	☆	2				応用生物学専攻開講科目・集中

(2) 昆虫バイオメディカル教育プログラム

本プログラムは、国公大学が連携することにより、昆虫が有する優れた生物学的機能の解明と、そのヒト疾患研究や再生医療への活用をめざす独創的な医工農連携教育プログラムです。

下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了の認定をすることができます。

昆虫バイオメディカル教育プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②以下の教科課程表から、**必修9単位、選択必修科目6単位以上の計15単位以上の単位の修得が必要です。**
- ③設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。
- ④受講するに当たり、交通費等について、一部自己負担がある場合があります。
- ⑤備考欄に「応用生物学専攻開講科目」または「機能物質化学専攻開講科目」の記載がある科目については、当該専攻学生に限り、修了要件に含めることができます。ただし、当該専攻以外の専攻の者については、他専攻の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。備考欄に専攻名の記載のない科目については、修了要件に含めることはできません。
- ⑥本学は、**京都府立大学と単位互換協定を締結しているため、同大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻の科目を受講し、単位を取得することができます。**その取得した単位は、本プログラムの選択必修科目の単位に含めることができます。なお、同大学院で履修した科目は修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目及び学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。

○昆虫バイオメディカル教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
応用昆虫ウイルス学特論	森 肇	2	☆			2		
疾患モデル昆虫学特論	山口政光	2	☆	2				
染色体工学特論	山口政光・伊藤雅信	2	☆			2	応用生物学専攻開講科目	
昆虫工学特論	森 肇・小谷英治	2	☆			2	応用生物学専攻開講科目	
バイオメディカル学特論	井上喜博	2	●			2	応用生物学専攻開講科目	
進化ゲノム学特論	高野敏行・某	2	☆	2			応用生物学専攻開講科目・集中	
細胞分子工学特論	某	2	☆			2	応用生物学専攻開講科目	
生体制御分子設計	小堀哲生	2	☆			4	機能物質化学専攻開講科目	
ヘルスサイエンス学特論Ⅰ	プログラム関係教員	2	●	2			京都府立医科大学、京都府立大学の研究紹介あるいはバイオメディカル分野のテクニカルセミナーを含む	
ヘルスサイエンス学特論Ⅱ	プログラム関係教員	2	●			2	京都府立医科大学、京都府立大学の研究紹介あるいはバイオメディカル分野のテクニカルセミナーを含む	
昆虫バイオメディカル特別実験及び演習	関係教員	3	●			6		

(3) 繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

「繊維・ファイバー工学分野」の産業的な裾野は広がっており、グローバルな視点から見ると繊維産業は成長産業ですが、我が国の教育研究機関における教育者・研究者は激減しており、産業界から教育組織・体系の再構築や強化が強く求められています。

我が国大学院に「繊維・ファイバー工学分野」の専攻を有する高等教育研究機関（信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学）が教育研究資源を連携・融合し、各大学の繊維研究分野における強み、連携における強み等を活かし、弱い機能を補完する形で我が国における繊維系大学院連合の構築を目指しています。

この繊維系大学院連合と関係学会、産業関連団体（産業界）とが連携して、同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成することを目的として、繊維・ファイバー工学コース教育プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、繊維・ファイバー工学コース修了者として認定証を交付します。（国家資格ではありません。）

繊維・ファイバー工学コース 教育プログラムの履修について

- ①本教育プログラムは、別に定める「履修生募集要項」に基づき出願し、選抜試験に合格した者を対象としています。
- ②本教育プログラムは、コース基幹科目及びコース連携科目からなります。
- ③履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
- ④本教育プログラムの認定には、大学院の科目（表1）のうちから、コース基幹科目の選択必修を10単位以上、コース連携科目の選択科目を6単位以上の計16単位以上の単位を修得し、かつ、博士前期課程を修了することが必要です。
ただし、アカデミックインターンシップは国内・海外の両方を修得した場合でも、コース修了要件には最大2単位までしか算入できません。
- ⑤大学院の科目（表1）のうち、備考欄に「専攻共通開講科目」の記載がある科目については、10単位まで修了要件に含めることができます。また、備考欄に「先端ファイブ科学専攻開講科目」、「バイオベースマテリアル学専攻開講科目」の記載がある科目についても、先端ファイブ科学専攻、バイオベースマテリアル学専攻の者については、それぞれ所属する専攻の授業科目の修了要件単位に、その他専攻の者については、他専攻の開講の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。
ただし、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目、単位互換制度等による他大学院科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑥信州大学、福井大学との単位互換協定により表2・3に示す各大学大学院の科目を受講し、単位を修得した場合は、本教育プログラムの選択科目の単位に含めることができます。
なお、別途、特別聴講生として履修登録申請手続きを行う必要があります。
また、修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑦受講するに当たり、交通費等については、原則自己負担となります。なお、コース基幹科目実施のため、バス・宿泊先を準備することがあります。

○繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

表1（本学大学院博士前期課程科目）

授 業 科 目	担 当 教 員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
コ ー ス 基 幹 科 目	繊維系合同研修	青木隆史	2	演習	☆	2			集中、専攻共通開講科目 1年次
	繊維系資格概論	浦川 宏	2	講義	☆		2		集中、専攻共通開講科目
	アカデミックインターンシップ（国内）	浦川 宏・澤田美恵子・先端ファイブ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	2	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、 1年次、春又は秋学期開講
	アカデミックインターンシップ（海外）	安永秀計	2	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、 2年次、春又は秋学期開講
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅰ（欧米）	佐々木園	2	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅱ（アジア）	鋤柄佐千子	2	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	繊維基礎科学（英語版e-Learning科目）	奥林里子	2	講義	☆		2		専攻共通開講科目
コ ー ス 連 携 科 目	テキスタイルサイエンスⅠ	鋤柄佐千子	2	講義	○	2			先端ファイブ科学専攻開講科目
	テキスタイルエンジニアリングⅢ	奥林里子	2	講義	○		2		先端ファイブ科学専攻開講科目
	テキスタイルエンジニアリングⅣ	桑原教彰	2	講義	○		2		先端ファイブ科学専攻開講科目
	Kansei-Human設計	森本一成	2	講義	○	2			先端ファイブ科学専攻開講科目・集中
	サステイナビリティ設計	木村照夫	2	講義	○	2			先端ファイブ科学専攻開講科目
	バイオベースポリマー	某	2	講義	○			4	バイオベースマテリアル学専攻開講科目・集中
	バイオ機能材料	浦川 宏	2	講義	○			4	バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオカラーサイエンス	安永秀計	2	講義	○			4	バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	生物資源システム工学	小原仁実	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオナノファイバー	山根秀樹	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目

表 2 (信州大学大学院理工学研究科 (修士課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授 業 科 目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数		備 考	
					1～2年次			
					春	秋		
コ ー ス 連 携 科 目	繊維技術士特論	(向山泰司) 他	2	講義	○	1	1	集中、春又は秋学期開講
	繊維材料学特論	大越 豊	2	講義	○	2		
	ヤーンテクノロジー特論	(松本陽一)	2	講義	○	2		
	繊維製品快適性評価特論	西松豊典	2	講義	○	2		
	衣服工学特論	高寺政行	2	講義	○		2	
	感性計測特論	上條正義	2	講義	○		2	
	感性繊維化学特論	田中稔久	2	講義	○		2	
	複合材料力学特論	鮑 力民	2	講義	○		2	
	機能化学特論 I	濱田州博	2	講義	○	2		
	蚕利用学特論	某	2	講義	○	2		平成27年度開講せず

表 3 (福井大学大学院工学研究科 (博士前期課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授 業 科 目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数		備 考	
					1～2年次			
					春	秋		
コ ー ス 連 携 科 目	繊維科学概論	(宮崎孝司)	2	講義	○	2		
	材料力性	島田直樹	2	講義	○		2	
	繊維・高分子材料工学	中根幸治	2	講義	○		2	
	繊維・高分子材料レオロジー特論	田上秀一	2	講義	○		2	
	繊維・高分子加工工学	植松英之	2	講義	○	2		
	分子相互作用特論	入江 聡	2	講義	○		2	
	界面コロイド化学	久田研次	2	講義	○		2	
	カラーレーション工学	廣垣和正	2	講義	○	2		
	生命機能工学	末 信一郎	2	講義	○	2		
	生体材料化学	藤田 聡	2	講義	○		2	

(4) 価値設計コース 教育プログラム

本特別教育プログラムは、設計工学系博士前期課程専攻の共通教育コースとして、設計工学系個別専門分野において修得する専門性を基盤としつつ、個別専門分野の枠を越えた俯瞰的視野をもち、ものづくりの過程でそれらを総合化できる能力を実践的教育により育成するために開設されました。与えられた課題に対する解を探索する「課題解決型学習」を通して個別専門知の統合化の過程を経験することにより、課題に含まれる価値を現実のものとして実体化するための、工学的設計法（価値設計）の修得を目標とします。

履修生が所属する各専攻の修了要件に加えて、以下の科目群から、価値設計コース必修科目である「デザインマネジメント演習ⅠおよびⅡ（計6単位）」を含む14単位以上を取得した者に対して「価値設計コース」修了認定書を交付します。但し、デザイン経営工学専攻の学生については、下記科目群より他専攻提供科目を2科目4単位以上修得することを要件とします。

なお、設備などの都合により受講者数を制限することがあります。特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるかどうかは各専攻に委ねるものとします。

○価値設計コース 教育プログラム

(本学大学院博士前期課程科目)

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
機械安全設計論	射場大輔・森脇一郎	2	講義	○			4		機械設計学専攻開講科目
生産システム論	軽野義行	2	講義	○			4		機械設計学専攻開講科目
ストラテジックデザイン論	専攻長・(東崎康嘉)・ (園部浩之)・(宮部正洋)・ (坂口智也)	2	講義	○			2		機械設計学専攻開講科目・集中
Technical Writing & Communication	(Wever, Steven)	2	講義	○	2				機械物理学専攻開講科目・ 2クラスで実施
計算物理学	松野謙一	2	講義	○		4			機械物理学専攻開講科目
プロジェクトマネジメント論	専攻長・(久保浩三)	2	講義	○			2		機械物理学専攻開講科目・集中
認知的インタラクションデザイン学	岡 夏樹・渋谷 雄・ 西崎友規子・(岩橋直人)・ (小松孝徳)・(長井隆行)・ (長井志江)・(南 泰浩)	1	講義	○	1				情報工学専攻開講科目・集中
人間情報環境特論	渋谷 雄・倉本 到・ (園山隆輔)	2	講義	○			4		情報工学専攻開講科目
Kansei-Human設計	森本一成	2	講義	○	2				先端ファイブ科学専攻開講科目・集中
サステナビリティ設計	木村照夫	2	講義	○	2				先端ファイブ科学専攻開講科目
製品デザインマネジメント	木谷庸二	2	講義	○	2				デザイン経営工学専攻開講科目
ファシリティデザインマネジメント	仲 隆介・ LI ANDREW I KANG	2	講義	○			2		デザイン経営工学専攻開講科目
グローバル・マーケット研究	坂本和子	2	講義	○	4				デザイン経営工学専攻開講科目
デザインマーケティング	久保雅義	2	講義	○			2		デザイン経営工学専攻開講科目
製品創成産業論	川北眞史	2	講義	○		4			デザイン経営工学専攻開講科目
色彩工学	佐藤哲也・北口紗織	2	講義	○	4				デザイン経営工学専攻開講科目
生活空間環境論	小山恵美	2	講義	○	4				デザイン経営工学専攻開講科目
デザインマネジメント演習Ⅰ	専攻関係教員	3	演習	●	3				デザイン経営工学専攻開講科目(1年次)
デザインマネジメント演習Ⅱ	専攻関係教員	3	演習	●			3		デザイン経営工学専攻開講科目(1年次)
フィジカルインタラクションデザイン	岡 夏樹・榎 勝彦・ 荒木雅弘・岡田栄造・ 野宮浩揮	4	演習	○	4				情報工学専攻開講科目・ デザイン学専攻開講科目 (受講希望者多数の場合抽選)
ソーシャルインタラクションデザイン	渋谷 雄・川北眞史・ 倉本 到・西村雅信・ 池側隆之・山本景子	4	演習	○			4		情報工学専攻開講科目・ デザイン学専攻開講科目 (受講希望者多数の場合抽選)

(5) 計数理学コース 教育プログラム

本プログラムは、工学における専攻分野を生かしつつ数理科学の幅広い素養を身につけた学生を育成することを目指しています。下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了が認定されます。

計数理学コース教育プログラムの履修について

- ① 履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
(専攻専門科目については、次年度以降変更されることがあります。)
- ② 本教育プログラムの修了認定には、次の条件をすべて満たす必要があります。
 - (A) 以下の教科課程表から、合計 12 単位以上の単位を修得すること。
 - (B) 数理科学特論 I・II・III より 4 単位以上の単位を修得すること。
 - (C) 数理応用代数・数理応用幾何・数理応用解析・数理応用統計より 2 単位以上の単位を修得すること。
 - (D) 代数学セミナー・幾何学セミナー・解析学セミナー・確率論セミナーより 2 単位以上の単位を修得すること。
 ただし、京都工芸繊維大学工学部への対応する学部科目の修得単位をプログラム修了認定要件に含めることが出来ます。(学部在籍時に学部科目として取得した数学科目の単位を、博士前期課程の修了認定要件に含めることは出来ません)
- ③ このコースの教育プログラム教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、博士前期課程の修了要件に含めることができる単位については、大学院工学科学研究科履修規則 別表 4 (第 5 条第 1 項関係) の (1) 修了に必要な単位数で確認してください。

○計数理学コース 教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
数理科学特論 I	朝田 衛・井川 治・奥山裕介	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理科学特論 II	岩塚 明・塚本千秋・峯 拓矢	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理科学特論 III	大倉弘之・矢ヶ崎達彦・磯崎泰樹	2	講義	☆	2				専攻共通科目
統計物理学	播磨 弘・三浦良雄	2	講義	○	4				電子システム工学専攻専門科目
電子系・電子凝縮系の物理	萩原 亮	2	講義	○			2		電子システム工学専攻専門科目
計算物理学	松野謙一	2	講義	○		4			機械物理学専攻専門科目
計算流体力学	山川勝史	2	講義	○			4		機械物理学専攻専門科目
確率応用システム論	澤田祐一	2	講義	○			4		機械設計学専攻専門科目
最適化理論	軽野義行	2	講義	○			4		機械設計学専攻専門科目
熱・統計物理学	猿山靖夫・八尾晴彦	2	講義	○			2		材料制御化学専攻専門科目
階層構造形成論	藤原 進・橋本雅人	2	講義	○	2				材料制御化学専攻専門科目
数理応用代数	奥山裕介	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用幾何	塚本千秋	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用解析	峯 拓矢	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用統計	磯崎泰樹	2	講義	☆			2		専攻共通科目
代数学セミナー	朝田 衛・奥山裕介	2	演習	☆	2				専攻共通科目
幾何学セミナー	井川 治・塚本千秋・矢ヶ崎達彦	2	演習	☆	2				専攻共通科目
解析学セミナー	岩塚 明・峯 拓矢	2	演習	☆	2				専攻共通科目
確率論セミナー	大倉弘之・磯崎泰樹	2	演習	☆	2				専攻共通科目

(6) 建築都市保存再生学コース 教育プログラム

現在進みつつあるストック型社会の実現に向けて必要となる、建築や都市の保存・再生の事業をリードできる人材を育成する大学院教育プログラムを、大学院博士前期課程建築学専攻において実施します。ここでは、従来の建築や都市の歴史学、文化財の制度やその保存技術、伝統的建築の構造解析や耐震補強、保存・再生のマネジメント、保存・再生のために求められる設計デザインなど、既存の建築学の分野を広く横断する知識と技能を集結し、それらを駆使しながら実際の事業を担えることができる高度な知識・技能を修得することを目的とします。実習や特別講義の多くは、KYOTO Design Lab. との連携により実施されるものです。

建築都市保存再生学コースの履修について

- ①このコースは大学院博士前期課程建築学専攻に設置されるもので、この専攻に所属する学生のみが履修することができます。
- ②大学院博士前期課程建築学専攻の2年次以降からこのコースを履修することもできます。
- ③大学院博士前期課程建築学専攻の修了要件を満たし、その上で、以下に示す15単位全てを修得し、かつ、コース修了試験に合格すれば、専攻の修了と同時に建築都市保存再生学コースの修了が認定されます。

○建築都市保存再生学コース 大学院博士前期課程

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	専 攻 履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
建築・都市再生学演習	田原幸夫・小野芳朗・石田潤一郎・木村博昭・高木真人・岩本 馨・大田省一・赤松加寿江	4	演習	○	2		2		建築学専攻科目 設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。
建築設計学特別講義B	専攻関係教員	1	講義	○	1		1		建築学専攻科目 集中・2年次 この特別講義の中で、開講される建築都市保存再生学コース用の授業を全て受講しなければなりません。
日本都市史	中川 理・小野芳朗・岩本 馨	2	講義	○	2				建築学専攻科目
世界都市史	石田潤一郎・西田雅嗣・大田省一・赤松加寿江	2	講義	○			2		建築学専攻科目
建築保存工学	森迫清貴・金尾伊織	2	講義	○	2				建築学専攻科目
保存活用デザイン論	田原幸夫・長坂 大・米田 明	2	講義	○	2				建築学専攻科目
景観学特論	中川 理・赤松加寿江	2	講義	○			2		建築学専攻科目

(7) グローバル教養プログラム

近年、グローバル化や少子高齢化など社会状況は急激に変化しています。これらの急激な変化に的確に対応でき、次代の社会を担うことのできる人材の育成が我が国の高等教育の急務となっています。このような状況の下、本学では、学部と大学院の一貫教育の実施、およびグローバル人材の育成強化等を目指して、教育制度の改革を精力的に実行しています。

この取り組みの一環として、平成27年度より大学院博士前期課程における教養教育科目（専攻共通科目）を大幅に拡充し、高い基礎学力に立脚した専門知識・技能の習得に加えて、外国語運用能力の習得やコミュニケーション力の強化を通じたリーダーシップの醸成、国際レベルの教養修得などを通して、グローバルな現場でリーダーシップを発揮し組織やプロジェクトを成功に導く高付加価値型人材の育成を目指したプログラムを実施します。

- ① 大学院博士前期課程の全学生を対象とします。
- ② 履修者が所属する各専攻の修了要件に加え、専攻共通科目から4単位（うち2単位は英語系科目）を修得し、総合計34単位以上修得した者に対して、専攻の修了と同時にプログラム修了者として認定証を交付します。
- ③ 各科目群の特徴は次のとおりです。
 - ・市民的教養とリーダーシップを育てる科目群・・・高等教養セミナー系、人文系、KIT大学院科目
 - ・国際共通語としての英語鍛え直し科目群・・・英語系
 - ・更なる高度な学習・研究段階へ進むための基礎となる専門科目群・・・数学系、高等教養セミナー系、人文系、自然科学系、KIT大学院科目
 - ・個々の学生のキャリア展望に応じたキャリアサポート科目群・・・インターンシップ系、KIT大学院科目

○グローバル教養プログラム

修了に必要な単位数（博士前期課程（修士課程） 国際科学技術コースを除く。）

専攻共通科目								総合計
数学系科目	英語系科目	高等教養セミナー系科目	人文系科目	自然科学系科目	インターンシップ系科目	KIT大学院科目	専攻共通科目合計	
	2						4	34